阿部さんに優秀競技者賞

体協で四十八名・一団体を表彰

五月十九日、新津市体育協会の表彰式が行われました。今回表彰されたのは、五十八年度に優秀な成績を収められた次の四十八名、一団体の方たちです。（敬称略）

優秀競技者賞　阿部承子（新津高、陸上）…国体陸上少年女子B二百㍍優勝

奨励賞　山崎真知子（本町三）、荒木房子（柄目木）…国体県予選バドミントン成年女子ダブルス三位　伊藤大助（新津高、レスリング）…国体レスリング少年グレコローマンスタイル70㎏級三位　山田友義、小林章浩、南波聡（以上新潟工高、ラグビー）…国体出場　円山安徳（新津工高、陸上）…県高校総体ハンマー投三位　鈴木健一、那須野一吉、間泰雅、坂井良成、戸松伸二（以上新津工高、弓道）…県高校総体弓道大会団体優勝　黒井一成、本間研、丹羽誠、清野和司、金子健（以上新津高、弓道）…県弓道選手権大会高校の部団体優勝　間隆広、後藤桂太、横山隆志、宮崎隆太、武田利康、大平明夫、広田徹、遠山隆、帆苅了、渡辺正史、樋口友夫、中村義樹、木村道雄、内藤満、和気彰（以上新津高、野球）…選抜高校野球大会出場　服部和美、神田博美、小川志津代、藤田真美、加藤直美、石津多恵子、三村美和、米山淳子、木沢理英、渡辺浩子、阿部美香、矢川記代、川崎小夜子、小林桂子、小野沢知美（以上一中、バスケットボール大会三位　新津高校陸上競技部（渡辺美佐子、石井浩子、安田宮子、村山敦子、石井千嘉、大嶋加代子、玉井真由美、古俣由美、谷千昌、沢田浜子、高橋征子、阿部承子）…県高校総体陸上競技女子総合三位

優秀競技者賞を受ける阿部承子さん

スポーツ大会結果

バドミントン大会　五月六日　市民会館

Aクラス…①新津・浜谷組（青少年ホーム）　Bクラス…①渡辺喜美子・村井真利子組（五泉連盟・青少年ホーム）　Cクラス…①中村広子・中村美奈子組（白根婦人スポーツ・白根小）

卓球大会　五月十三日　市民会館

高校一般男子…①曽我弘　中学生男子…①斎藤和弘（二中）　中学生女子…①小島裕美子（新関中）　男子ダブルス…①原田和良・曽我弘組　女子ダブルス…①五十嵐・渡部組

六人制バレーボール大会　五月二十日　三小

男子…①スポーツ愛好会　女子…①スポーツ愛好会（以上一位のみ　敬称略）

初心者軟式テニス教室

□とき…六月十日(日)、七月八日(日)、八月五日(日)、九月二日(日)、十月十四日(日)、十一月十一日(日)の午前九時～十一時三十分
□ところ…市民庭球場(一面)
□講師…軟式庭球連盟会員
申し込みは不要です。直接会場へお出かけください。

サッカー大会

□とき…六月十七日(日)の午前九時から
□ところ…市民会館前広場
□対象…小・中・高・社会人
□参加料…一チーム千円
□申し込み…六月十二日までに社会体育課（☎2―〇九一六）へ

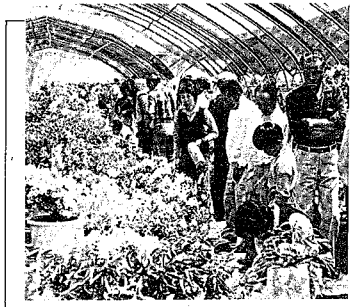
婦人バレーボール大会

□とき…六月十七日(日)の午前九時から
□ところ…三小
□対象…満二十五歳以上の既婚婦人または三十歳以上の方
□申し込み…六月九日までに社会体育課(☎2―〇九一六)

市民プール十五日から使用を開始

六月十五日から市民プールの使用を開始します。ぜひお出かけください。

□使用時間
●六月十五日～七月十五日…午後一時～六時
●七月十六日～八月三十一日…午前九時～正午と午後一時～六時
●九月一日～十五日…午後一時～五時
□料金…中学生以下は百円、高校生・一般は二百円
幼児は保護者が同伴してください。なお月曜日は、団体専用使用日のため、一般使用は休みです。専用使用を希望される団体は、社会体育課（☎2―〇九一六）へお申し込みください。



さつきまつりオープン

会場は人の波・波・波…

絶好の〝五月晴れ〟に恵まれた5月19日、市民会館前広場で「新津さつきまつり」が開幕しました。さつきまつりの参加業者は68、出品数は約3万鉢にもなります。

翌日の20日は、日曜日ということもあり、約8,000人もの愛好者の皆さんが市内はもちろん、遠くは県外からも訪れていました。色とりどりに咲き乱れるさつきが、目を楽しませてくれました。

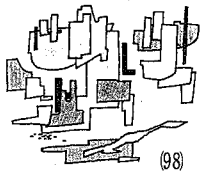
なお、この「新津さつきまつり」は、6月6日まで「新潟県さつき展」として、引き続き市民会館前広場で開かれています。ご家族おそろいで、ぜひお出かけください。

お買物、ご用命は市内で

あなたの安心を企画する
新津市金沢町3丁目
(有)樋口保険企画　☎2-6774
損害保険　火災保険　自動車保険　傷害保険　賠償保険
生命保険　終身保険　疾病保険　定期保険　OK保険

みなさまのメガネの相談室
メガネの 野本
新津市本町3丁目(時計店となり)　☎2-2556(代)

大正夜話



(98)

受験浪人(一)

阿部達夜潮音

東京朝日（58年11月17日）の「二十世紀の軌跡」を見ていたら、福島市の裁判官の家庭に生まれた高田なほ子（七八）が、十七歳で教師になり、奉職校の校長の言葉に励まされて上京した大正十三年頃のことについて、

＊　＊　＊

「一途に勉強したい、それだけでした」当時、東大生だった弟と二人で、東京で借りた家は六畳二間に台所で、月四円五十銭。

大森区の小学校に俸給四十五円で勤めながら、夜は勉強に通った。文検のための勉強のほか、教師のための絵の講習会があると聞いて、「東京は大したもんだ」と思う。

絵のほかにピアノも習字も、と欲は次々に出た。

「新聞なんて、時間がもったいなくて読まなかった。」しかし、「生活の面では東京は砂漠のような感じだ」と高田はいう。

このような精神的に恵まれた生活をしていても、「東京は砂漠のように感じた」というのであったら、私の東京の浪人生活などは何と形容すべきであろうか。

それこそ、全く砂漠のような灰色の生活であった。

私が受験勉強のために鉄道を退職して、上京したのは昭和二年の四月で、退職直前の私の月給は五十円であった。

東京で間借りをしたのは本郷追分町の電車の停留所に近い菓子屋の二階で、部屋代は六畳の間で月十円で、間代は少し高いように思われたが、東大や一高の直ぐ近くで、神田の学校へ行くにも上野図書館へ行くにも便利であったから、この程度の値段が普通だと思った。

間借りの私は専ら外食であった。その外食というのは本郷、神田、上野附近の簡易食堂で、これらの食堂では、いずれも朝昼夕の一日の食費は、合わせても、五十銭くらいであった。

また、下谷附近の牛飯屋は特に安く、牛どんは十銭乃至十二銭であった。東京の所々にあった須田町食堂のライスカレー一杯は八銭で特に安いので流行っていたが、飯の量が少なかったので、私のような貧乏浪人には好ましいものではなかった。

当時、一般に受験勉強といえば、中学校五年を終えて、（旧制）高等学校、専門学校を受験するための予備校へ入るのが普通であった。

その頃は今と違って高等学校の数が少なく、高等学校卒業者は東大入学に固執しなければ何処かの帝大に楽々と入学できたので、何の勉強にも便利な東京でも、帝大への受験準備の学校などは全くなかった。

尤も、一学科ならば英語では神田の国民英学会の英語高等科、漢文では二松学舎の高等科などでは旧制高等学校程度の英語や漢文の講座はあったものの、それらは大学受験などを考慮したものではなく、趣味教養的なものであった。

私は、一学期中は、昼は二松学舎で漢文を、夜は正則英語学校の英文科でトーマス・ハーデーの「テス」やシェークスピーアの「ジュリアス・シーザー」などをやったが、私のように焦って、進度がのろく思われたので、第二学期からは、国語漢文は上野の帝国図書館で独習することにし、英語は国民英学会の英文科でやることにした。ここでは、一学期間で、Dr. Jekyll and Mr. Hyde程度の本を二、三冊講義して貰える上、英作文の添削があったので全く誂え向きであった。

当時の上野図書館は、朝早くから並ばないと、入館がなかなか困難であったが、閲覧者はみな懸命であったから入館すると、その雰囲気に支配されて眞剣にならざるを得なかった。

だんだん馴れてくると、私と同じように朝入館したまま夕方迄頑張っている者が相当数あり、その顔触れもほぼ決っていることが分かってきた。

いつも、私と同じ部屋（朝早く入館した者は大体同じ部屋）に陣取っている連中の様子を見ていると、図書館から本を借りるのではなく、銘々同じような憲法、民法、行政法などの厚い専門書を持ち込んで、いつでも試験前夜のように頭をかかえて熱心に勉強をしており、昼食の休み時間には、廊下の新聞閲覧場の附近で、ムキになって、憲法論や法律関係の議論に花を咲かせていた。

それで、彼等は大学の法科を卒業後、高等文官（行政・司法・外交）の試験を受けるために受験準備をしているのだということが分かってきた。

すなわち、当時、官界に就職する者は、大学を卒業したとしても、高文（高等文官）の試験に合格していないと、一生属官で終わらねばならないという定評があったから、大学を卒業しても直ぐ就職しないで、図書館で高文の受験準備をしているのであった。

この連中の勉強は、それこそ必死で殺気を帯びていたので、その間に席を取って勉強していると身も心も引き締まる感があった。

（新潟大学名誉教授）

鉄道妨害はやめよう

―「鉄道妨害防止運動」を実施―

最近、自動車の増加につれて、踏切上での脱輪やエンスト、直前横断、スリップなどドライバーの方々の運転未熟やマナーの低下による踏切事故が多発しています。また、常停止することもあります。

このような事故が発生し子供さんによる線路立入りや、置き石などで列車が非列車の脱線や転ぶくなどの大惨事を招く恐れがあります。

列車の安全運転を確保するため、鉄道妨害の防止にご協力をお願いします。

お買物、ご用命は市内で

＊三二農園利用者募集＊
『くらしと町づくり市民の会』では土に親しみ、生産を喜び、健康増進、一家だんらんふれ合い農園をお貸しします。
すでに耕運機によりタネまたは苗を植えるだけに耕し済みです。
◇区画……1区画33㎡(10坪)、60区画あり　※先着申込み順
◇利用料……年3,000円
◇場所……グリーンセンター前(七日町)
◇連絡……くら・まち会館(☎4―8830または 2―4177)

肌着・化粧品
資生堂チェインストア
本町2丁目 マツヤ ☎(2)0418 (3)0630
第四銀行が向い。北越銀行がとなり。